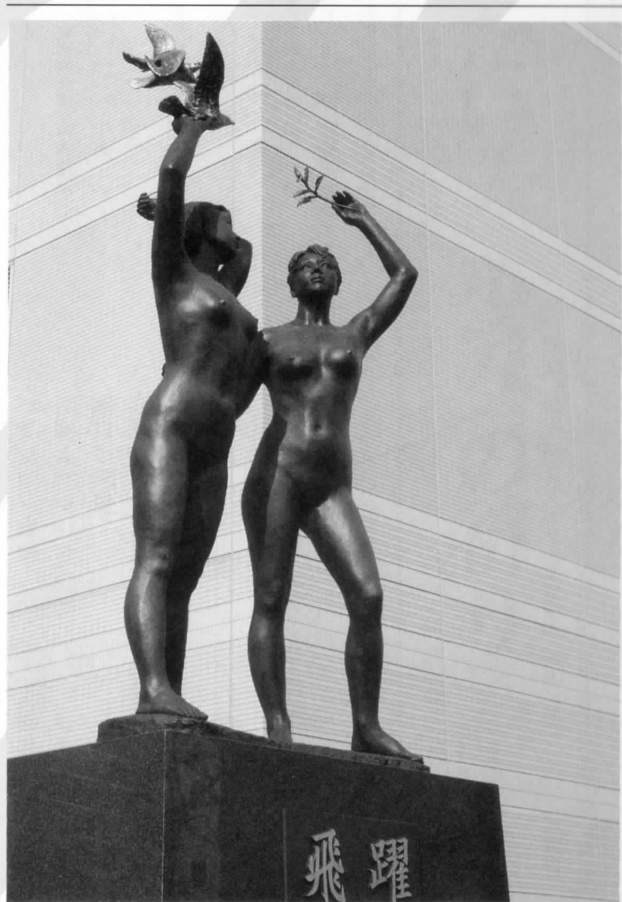


パッション

第3号

1995 NO 3

—出会いと感動を求めて—



四日市市文化協会

確かな技術と
時代に先立つ
感性を基本に。



DAISO

大宗建設株式会社



洒翠庵

〒510 四日市市相生町1番1号新大宗ビル
TEL(0593)53-6661 FAX(0593)54-2226

目次

表紙のことば

特集 終戦50年

伝えたい！少女の祈り 劇団四日市 山本淳子 — 1

妻よ母よ子供等よ！ 四日市の文化を 中島 一 — 2
考える会代表

あふ溢るいのち

中村三ツミツさん 魂のギタリスト — 4

●提言

四日市の文化をリードしてください
勸四日市市文化振興財団運営委員会委員 山下 保 — 6

合唱を支える心のハーモニ — 7
合唱 内藤壽夫 指導者

●文芸

パッション歌壇

川柳よっかいち 細貝武司選 — 8

四日市50景 保地桂水選 — 8

故郷でリサイタルノ 大森義基さん 中川博和 — 9

よっかいち画廊案内

BOOK紹介

〈文化情報〉

イベント・音楽・ステージ・美術

私たちのサポーター — 15

12 11 10 9 8

表紙の作品——「飛躍」

「飛躍」はAMスクエア前の市民公園に建つブロンズ像で、制作は故・宮田卓二氏。平成元年三月、四日市商工会議所創立百周年記念事業の一環として、同会議所の環境美化緑化推進団体である「四日市を美しくする会」が、四日市市の協力を得て建立したものです。

特集
終戦50年

1

『アンネの日記』公演

伝えたい！少女の祈り

山本 淳子

劇団四日市

第二次世界大戦中、ナチスの迫害の中で少女が書いた『アンネの日記』を公演することになった。十三歳の誕生日に日記帳をおくられ、隠れ家で暮らした日々を綴ったものだが、舞台では、アンネ一家と同居していたファンダーソンが空腹に耐えかねて、深夜、みんなの乏しい食料を盗むシーンがある。しかし、私は彼を責める気にはなれない。どんな善人をも、戦争は人間を狂気に追い込んでしまうからだ。

そんな戦争が五十年前、私たちの国にもあった。アン

ネたちが味わった激しい飢え、絶え間なく押し寄せる死の恐怖——そうした地獄の苦しみの中で、アンネは、日記にこう記している。

「この日光、この雲ひとつない青空があり、生きてそれを眺めることのできるかぎり、私は不幸ではない……」

経済も物も豊かになり、平和に馴れてしまった私たちである。公演の稽古中に、若い人たちからは「平和なんて空気のようなもの、当たり前だもんね」という声も聞かれたほどだ。その空気の有難さを、若者たちが理解を

示してくれたのである。

「わたしのやりたいこと、いっぱい、いっぱいあるんですー」と、死の恐怖の中から、命の尊さをひたむきに祈るアンネの想いを、だからこそ私は伝えたいのである。五十年前の暗黒を、人間と人間が殺し合った戦争のことを、絶対に、絶対に忘れてはならないから……。



2

『収容所(ラーゲリー)から来た遺書』(辺見じゅん)の舞台化!

特集
終戦50年

妻よ母よ子供等よ!

中島

四日市の文化を考える会代表

講談社ノンフィクション賞と大宅賞をダブル受賞した『収容所から来た遺書』のふたり芝居『妻よ母よ子供等よ』

をプロデュースする上で、二つの期待があります。

その一つは、戦後五十年という節目の年に、戦争を知

らない世代に向かってはその悲惨さを知らせたいこと、すべての世代に向けては平和の貴さをもう一度考えてみてほしいという願いです。

作品は、劇団東演が昨年の東京公演で大きな反響を呼んだもの。二人の俳優の見事な演技はもちろん、四日市出身の中村ヨシミツが弾く迫真のギターが、もう一つの魅力を創りあげています。

ストーリーは、第二次大戦の末期、満州でロシア軍に捕われ抑留中、重労働と極寒の地に果てた男のドラマで実際にあつた話です。男は熱い望郷の念と、妻や子どもたちへのあふれる愛情を遺書に託していました。戦友たちはその遺書をロシア兵に見つからないように、一行一行を分担して、やがて祖国に帰れる日まで暗記し、胸に刻みつけてゆく。まさに人間愛あふれるドラマです。

こうした良質の芝居を、この町の一人でも多くの人た



ちに見てほしいし、こんな活動に自ら参画してゆくことこそ「文化」のはず。公演をプロデュースした私のもう一つの目的は、四日市市文化協会が自らの力で自主事業ができるよう、この公演を通して、その基礎づくりをつかむことができれば——との願いなのです。ぜひ応援を! 「妻よ母よ子供等よ!」(劇団東演)

7月19日(水)・四日市市文化会館第2ホール・18時30分開演

ああ遊2の友

魂のギタリスト

中村ヨシミツさん



本年5月13日(土)
「アーナイン」でのライブ演奏

弦を激しく叩きつける。呻うなくように、叫ぶように、深く重い音が腹の底にひびく。やがて、微かな音に移り、高揚した魂をやさしく鎮めてゆく……。

奏者は中村ヨシミツ、四日市出身のギタリストである。彼の愛用はクラシックギターだが、奏する音はその域をはるかに越える。あるときは歌うように、あるときは語りかけるように、泣いたり叫んだりして、人の心の奥深くに飛び込んでくる。まるで怪人二十面相のようだ。ヨシミツの

ギターを「魂のギター」と呼ぶのは、そのゆえんである。

シャンソン歌手・賀川有見が歌う女の情念と、ヨシミツが弾く男の情念が火花を散らし、やがて絡み合ってゆく。シャンソン歌手があえて歌う「リング追分」では、ヨシミツは、津軽三味線のように荒々しくピックを叩きつける。

圧巻は「恋人」。阿部定をモチーフにとり入れたオリジナル曲だが、あふれるような妖しい愛の世界に引き込まれてしまう。

ヨシミツのギターは、7月

19日、劇団東演の「妻よ母よ子供等よ」で来泗する。深い望郷の念を、ヨシミツがど



豊かな歌唱力で歌い上げる
賀川有見さん

うギターで演ずるか。劇場に足を運ばなければ決して味わうことのできない感動である。

飾らない人柄もヨシミツさんの魅力……



音響・照明・イベントや発表会のご相談に応じます。
格安のものから本格的なステージまで……

EVENT PLANNING & PRODUCE
C.C.WORK CO.,LTD.

〒513 鈴鹿市住吉三丁目21番5号
☎ <0593>70-0590
FAX <0593>79-2359

**OFFICE
MORI**

森 悠紀

〒510 四日市市鶴の森1丁目13-12
TEL <0593>54-0852
FAX <0593>55-6044

全国へお花をお届けします
花キエット

フラワーリスト **花モト**

西浦本店 プラザホテルアネックス店

御注文は ☎52-8490(代)

提言

四日市の文化を リードしてください

財四日市文化振興財団
運営委員会委員

山下 保

かつて文化サークルが活発に活動を始めた全国的な流れの中で、わが四日市でも昭和二十五年頃から約十五、六年の間に、その運動がまたたく

間に全市に広がり、自主的な市民文化の花が盛りとなりました。文化は高級なものではなく、むしろ庶民のものなんだということを学び始めたのも、この頃です。

そして、文化は誰かが創つたものを有難く戴くのではなく「自らもまた、その創造に参加すべきもの」と考えるようになりつつありました。

市の提案する計画に参画した個々の団体は、四日市の文化に貢献しようと努力する中で、それぞれが発展し、成長していきました。そして今、

「四日市市文化連盟」の発足当初から関わってこられた方々が、ここでの貴重な体験を経て「文化協会」を設立されたのだと思います。ですから、「自分たちを勇気づけ、豊かな実り多い人生を送ることが素晴らしい」と思えるような、

そんな文化を守り育てていただけると確信しています。実りある活動に裏付けされた成果を市民に提供し、展望をもって「四日市の文化のあり方」を、先達となり、開拓していただくよう、心から望んでやみません。

好きな人でも、これはとって

も苦しいことです。だから、互いに励まし合い、工夫し合う仲間との心の調和（メンタル・ハーモニー）が、一番大切になります。そして、私がつけてきた「市民コーラス運動」は、このメンタル・ハーモニーの追求なのです。

このような合唱グループが育ち、永く続けられていくところこそが望ましく、参加するひとりひとりが、美しい音を追求し、協力し合ってひとつの音楽を創り出すことが「合唱運動の推進」であり、文化

活動なのです。

そして、その運動の中からさらに多くの合唱グループを輩出し、時代を越えて、合唱の素晴らしさが伝えられてゆく。そこに「合唱運動の展開」が期待されます。

今や、私も若くはありません。しかし、こうした私の叫びに共感し、自らの活動によって、この「市民コーラス運動」を推進しようという意志の結集があれば、いつまでも、その人たちとの活動を続けていきたいと考えています。

合唱を支える 心のハーモニー

合唱指導者

内藤 壽夫

合唱はひとりではできません。二部なり三部なり、或いはもっとたくさんパートに分かれて、各パートどうしが響き合うように分担します。そのためには、自分に足りない要素を、学習し合わねばなりません。どんなに「歌」が

音響設備・機材のプロです。

PRO AUDIO, PRO VIDEO & CATV
ALUWorks

〒510 四日市市船出町3丁目30番地
TEL(0593)46-1386
FAX(0593)46-9094

小さな箱に夢を詰めて

フランス菓子

エトワール

〒510 四日市市北町5-12

☎(0593)51-9928

ヤマハの店



ひろせ楽器

四日市市諏訪町7-17(四日市市役所北隣)

☎0593-52-6790

FAX兼用51-2706

夜間52-4580

思い出いろいろ...

各種発表会・結婚式など



ビデオ・写真・CD **セコ**

桑名郡多度町香取21

☎(0594)48-3248

文芸

パッション歌壇

細貝武司選

水仙の花茎すつくと伸びてをり冴ゆる朝も雪もよふ日も
みゆきヶ丘 神田しづ子
雨の歩道厚く散り敷くさくら花踏みしだかれ
て靴につきくる 高砂町 多川みちこ
二十余年変わらぬ童謡ながしつっパン売りワ
ゴン車くる日曜日 日永 小林 寿子
英国の香りをのこす街並みに白木蓮の花のまぶしき
小古曾 山中 頼子
夕風はみどりの深き杉枝をゆったり揺りて花
粉を散らす 桜町 坂井 敦子
散り敷ける花の褥を踏みてゆく三日通らぬこの
山道を 前田町 中野 加代

デッサンの独楽を勢いよく回す 荻谷 三滝
投げ込むとポストが冷たいと言った 澤 啓司
言い訳の便り字数が多くなる 松本きりり
新築をしたとピノキオから便り 菱川 麻子
残り火がかすかに匂う便りくる 井垣 和子
まだジャンプする気の古い妻という 伊藤 多恵
脚力が無いから小銭も拾えない 磯野 幸海
太い脚働き者と書いてある 矢田 哲
船脚ものんびり花嫁乗せた舟 吉田 紫水
古本の中から貰う新知識 松林志津江
炎の化石を後生大事に持つている 八木 火砂
巻くほどに出口忘れた縛れ糸 橋爪吉五郎
三学期自信持たせるねじを巻く 伊藤 せき
遠目から美人に見えた真知子巻き 内山サカ枝

静峡の淵に影おく岩の上子猿一匹動かずになを
り 尾平町 杉野 静子

口ひげのダンプの運転手急停車横断うながし
老いを渡しぬ 小古曾 佐藤 静江
やはらかき雨と日射しに擣げくる小さき葱坊
主頑なにつむ 日永 山内 てい
巡り来る四季のおもむきかはれども花とみど
りの春ぞ楽しき 中瀬古 上田日出男

川柳よっかいち

保地桂水選

これからは病さがさぬ事にする 大原 栄子
これからも薬師堂へは日参す 森 よしゑ
指輪がゆるんでこれから長い冬になる 坂井 兵
知恵の輪が解けないうちに母になる 石田 寿子
輪の中で育つて骨がもろくなる 樋口 仁
古い独楽時々亡父の顔をする 矢田はるみ

四日市50景



四日市霞緑地公園に潜む
怪獣——オーストラリア館
PHOTO / 中川博和

仏壇・仏具
(株) 福井屋總本店
四日市店 四日市市鶴の森1-6-16
☎(0593)52-2918
桑名本店 稲沢店 員弁店 桑名工場

ビッグバンド
メンバー募集中!
ジャズ・ポピュラーから演歌まで
★トランペット、トロンボーン、サクソ
ベース、パーカッションなど
★毎週日曜の夜、下記で
サンセット・ポップス・オーケストラ
四日市市昌栄町・名四ビル
TEL 52-8262
97-3522(中島)

大重建設
〒510 四日市市赤堀1丁目1番16号
電話 <0593>52-8287
53-2031
FAX <0593>51-7795

故郷でリサイタル!



サクソフォン奏者
大森義基さん

東京・NHKホールを始め、全国で活躍中の大森さんが、この夏、四日市に帰郷、リサイタルを開きます。その大森さんから便りが届きました。

「私はサクソフォンの音色に魅了され、ずっと吹きつづけています。この楽器は、19世紀、ベルギー人のアドルフ・

サククスさんが軍楽隊などで金管楽器と木管楽器の音が上手くとけ合うようにと考案、楽器名は、発明者の名からとったものです。サククスは正式にはサクソフォンといい、ソプラニーノ、ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、バス、コントラバスの7種類の楽器で構成されています。今

回のリサイタルで私が使用するのはアルトサククスとソプラノサククスの2本。伴奏はすべてピアノです。プログラムのは前半は、アルトサククスによるフランス音楽を中心に、後半は皆さんもご存知の「白鳥」やサクソフォンのために編曲した作品などたくさん用意しています。私にとって、故郷での演奏は大きな喜びです。ぜひお聴きください」

7月14日(金)19時30分開演
四日市市文化会館第2ホール
(14P参照)

よっかいち 画廊案内

松坂屋四日市店美術画廊

四日市市安島1-3-21

☎59-5051

●6/15(㊤)~20(㊤)

萩焼 渋谷泥詩作陶展

●6/22(㊤)~27(㊤)

中部近鉄百貨店美術画廊

四日市市諏訪栄町7-34

☎53-5151

●6/14(㊤)~6/19(㊤)

創業35周年記念

北大路魯山人展

井堂雅夫・宮本秋風

木版画二人展

●6/28(㊤)~7/4(㊤)

第2回 夏の掛軸展

●7/19(㊤)~7/25(㊤)

第3回 佐藤泰子

ガラス工芸展

●7/26(㊤)~8/8(㊤)

竹内邦夫 石彫展

●6/21(㊤)~6/26(㊤)

第2回 山尾才個展

●6/28(㊤)~7/3(㊤)

上村松園、松篁、淳之

三代版画展

●7/4(㊤)~7/10(㊤)

創業35周年記念

交趾焼 中村翠嵐茶陶展

●7/11(㊤)~17(㊤)

近代陶芸巨匠展

四日市市博物館

四日市市安島1-3-16

☎55-2700

●6/16(㊤)~7/16(㊤)

四日市空襲展

妻よ母よ子供等よ!

「収容所(ラーゲリ)から来た遺書」より

劇団東演公演 [No.96] 原作:辺見じゅん 脚色・演出:ふじたあさや

とき 7月19日(水) 開場PM6:00 開演PM6:30

ところ 四日市市文化会館 第2ホール ☎0593-54-4501

入場料 ¥3,000(全席自由) 当日¥3,500

主催 四日市の文化を考える会 プレイガイドで発売中
☎0593-97-3522 (中島)

JR四日市駅前

石田胃腸科病院

☎診療時間 AM9:00~PM1:00
PM2:00~PM6:30

☎休診日 日曜日・祝祭日・土曜午後

四日市市朝日町1-15

☎(0593)53-1546・53-3313

café

COLORADO

コロラド 四日市店

定休日 第2・4火曜日

三重県四日市市鷺の森1-4-10

TEL0593(52)7940

●7/28(金)～8/27(日)

あ！とおどろく

昆虫たちの世界

四日市市文化会館

四日市市安島2-5-13

☎54-4501

●7/23(日)～8/13(日)

躍動するいのち

宮田卓二 遺作展

※このコーナーでは情報を募集しています。次の発行は10月です。10月以降の情報を左記迄FAXをお願いします。

四日市市文化協会

FAX 51-3729

61(1967)をからませて書かれている。本と読者との出会いや関わり方の不思議さを感じさせる感動的なエッセー集

(1993年・文芸春秋)

●闘将伝(中村彰彦)

戊辰戦争における会津藩にかかわる小説が枚挙に暇がないのに比べ、桑名藩についてはほとんど小説に取り上げられていないのだが、これはずっと会津藩・遊撃隊等賊軍を書きついでいる作家による鳥羽伏見から宇都宮、越後、会津と転戦し維新後も西南、日

紹介BOOK

稲垣靖俊

●トリュフォー(山田宏一)

ヌーベルバーグ以前、以後という表現が出来る程の影響を与えた「新しい波」その波の電源「カイエ・デュ・シネマ」誌の同人でトリュフォーの友人でもあった著者が、自身の映画体験とオーバーラップさせながら描く、映画狂の不良少年(フランソワ・トリュフォー)が批評家を経て監督に

なるまでの映画的人生についての物語であり同時に映画を通して人生を発見してゆく心ときめく冒険物語でもある

(1994年増補版・平凡社)

●本をつんだ小舟(宮本輝)

今やベストセラー作家である宮本輝が、中学高校時代に家庭をかえりみない父とアルコール中毒の母という絶望的な環境の中で「逃避」として読み続けた数多くの本の中から32編の名作をとり上げ、その一つひとつに感動しあるいは反発しながら魂を形成してゆく過程を、時代背景(19

清、更に日露戦争には中将として第八師団を率い黒溝台、奉天と戦い続け、戦いが終わるや2年を経ずに没した桑名藩雷神隊々長、立見監三郎の壮烈な物語。

(1994年双葉社)

●いまひとたびの(志水辰夫)

九つの短編から成るこの本の主人公はすべて、老年を目前にした男達であり、彼等が肉親、友人、かつての恋人、すれ違っただけの女、そして彼自身といった様々な人々の様々な形の「死」と直面し、あるいは死の周辺をさまよ

ながら彼等の「死」をあぶり出してゆくと「花ならアザミ」「行きずりの街」等と味違ったハードボイルドで知られる志水辰夫のこれは「死」をめぐるひと味違う短編集。

(1994年新潮社)

●歌集 雪の音(細貝武司)

作品は、細貝氏の兄弟歌集につづく第二歌集。昭和五十五年から平成五年までの自選七百二十四首から、「曆象」主宰・中村源一郎氏による選歌五百十一首を収録。作者の心の揺れやぬくもりが伝わってくる詞華集である。

印刷技術最前線

デジタルで高品質、印刷業界もコンピュータで画像を処理する時代になってまいりました。デザインワークはマッキントッシュでクリエイティブな世界を広げ、写真製版部門はカラー・モノクロスキャナ、カドグラフ、スーパーコンポザーとフルデジタル化。また印刷部門はコンピュータプリンティングコントロールシステムを搭載した印刷機をラインアップして品質標準化(数値管理化)を徹底的に追求。さらに、フィニッシュワークは迅速・丁寧をモットーにライン化を計って品質管理・納期管理を最重視するなど、いま印刷技術最前線が水九印刷の合言葉になっています。

合資会社 水九印刷所 〒510 三重県四日市市富士町1番147号
TEL<0593>32-6600 FAX<0593>32-6688



四日市一番街商店街振興組合
〒510 四日市市諏訪栄町3-12
TEL 0593-54-5272代

橋 妃呂子 シャンソンコンサート

- ◆9月15日(祝) 16時～
- ◆四日市市文化会館第二ホール
- ◆料金 2,000円

※収益金は、四日市市の機関を通じて社会福祉事業に寄付されます。

イベント／音楽／ステージ／美術

へ文化協会主催・後援イベント

サマーナイトコンサート

7月8日(土) 18時30分開演
会場 あさけプラザホール
出演 サンセット・ポップス・オーケストラ／田辺信男／もあ
主催 あさけプラザ運営協議会
料金 10000円

91歳／高木東六の青春
軽歌劇「唐人お吉」

7月9日(日)14時開演
会場 四日市市文化会館第1
主催 生涯現役「91歳高木東六の青春」公演実行委員会
問い合わせ先 南川
☎0594-7610569

大森義基サクソフォン・ソロ・リサイタル

7月14日(金)19時30分開演
会場 四日市市文化会館第2
主催 アッシュ・ヴァカンス
料金 20000円
問い合わせ先 樋口博巳
☎321-3700

劇団東演公演
妻よ母よ子供等よ!

『収容所から来た遺書』より
7月19日(水)18時30分開演
会場 四日市市文化会館第2
主催 四日市の文化を考える会
料金 30000円(前売り)
問い合わせ先 中島 一
☎971-3522

第24回泰州流吟剣詩舞道大会

9月4日(日)9時30分開演
会場 四日市市文化会館第2
主催 泰州流詩吟朗詠会総本部
料金 無料
問い合わせ先 山路泰州
☎521-8490

橘 妃呂子

シャノン・コンサート
9月15日(祝)16時開演
会場 四日市市文化会館第2
料金 20000円
問い合わせ先 四日市市文化協会
民謡秀敏会25周年記念発表会
9月24日(日)10時30分開演
会場 三重県総合文化センター

95第45回四日市市民文化祭
舞台

会場・四日市市文化会館

中ホール
主催 藤本秀敏民謡会
料金 無料
問い合わせ先 藤本秀敏
☎531-3932

10月28日(土)第1ホール
「前夜祭・総合フェスティバル」
10月28日(土)第2ホール
「市民の民謡まつり」文化交流
10月29日(日)第1ホール
「日本芸能まつり」 邦楽
10月29日(日)第2ホール
「合唱祭」 洋楽I
11月3日(祝)第2ホール
「日本舞踊まつり」 舞踊I

展示

10月27日(金)～29日(日)
美術展 第1展示室
工芸展 第3展示室
10月28・11月3日～5日
文芸 第3ホール

11月4日(土)第2ホール
「親子演劇祭」 演劇
11月5日(日)第1ホール
「第1回ミュージック・カーニバル」 洋楽II
11月5日(日)第2ホール
「親子演劇祭」 演劇
12月9日(土)第2ホール
「創作舞踊会」 舞踊II
12月10日(日)第2ホール
「芸能ジョイント・フェスティバル」 芸能

10月29日夜

社交ダンスパーティー 第4ホール
11月1日(水)～3日(祝)
菊花展 展示棟ロビー
11月3日(祝)～5日(日)
アート押花展 第2会議室
文芸 和室
生花展 第1展示室AB
盆栽展 第1展示室CD
人形展 第4展示室
茶会 洒翠庵
11月4日(土)・5日(日)
歴史文化展 第3展示室
12月7日(木)～10日(日)
文化交流・趣味教養 第1展示室
(一部変更があるかもしれません。ご了承ください)

四日市市立博物館

四日市空襲展 6月16日(金)～7月16日(日)
共催＝四日市市

今年が四日市空襲・終戦50周年に当たり、また、本市が非核平和都市宣言をして10周年を迎えます。この機会に、平和の貴さと戦争の悲惨さを考えます。

広告の

お問い合わせ・お申し込みは
四日市市文化協会事務局まで

TEL・FAX0593-51-3729

アルミサッシ工事 ガラス工事
ホリベ硝子株式会社

代表取締役 堀部喜八郎
〒510 四日市市北町9-8
TEL <0593> 51-4828
FAX <0593> 51-1758

理事会だより

部門の一部が変わります(下の傍線部分)

1. 文芸 (俳句・短歌・川柳・散文・評論など)
2. 美術 I (絵画・書道・写真・映像・グラフィックデザインなど)
3. 美術 II (彫塑・工芸・スペースデザインなど)
4. 邦楽 (箏曲・三絃・尺八・吟剣・剣詩舞・民謡・長唄・端唄・小唄・大正琴・現代三味線など)
5. 洋楽 I (合唱・声楽・オペラなど)
6. 洋楽 II (吹奏楽・軽音楽・民族音楽など)
7. 洋楽 III (器楽・管弦楽・リトミックなど)
8. 演劇 (現代演劇・ミュージカル・ニューウェイブなど)
9. 舞踊 I (日本舞踊)
10. 舞踊 II (創作舞踊・民謡おどりなど)
11. 舞踊 III (洋舞・バレエ・民族舞踊など)
12. 生活文化 I (茶道・煎茶・盆石・華道・香道など)
13. 生活文化 II (盆栽・菊花・山野草・園芸・水石・フラワーデザインなど)
14. 歴史文化 (郷土史研究・文化財保存など)
15. 伝統文化 (能楽・狂言・雅楽・浄瑠璃など)
16. 趣味教養 (囲碁・将棋・カード・人形・着付け・料理・芸術鑑賞など)
17. 自然 (天文・地質・動物・植物・都市環境など)
18. 文化交流 (国内外交流・ボランティア・太鼓・社交ダンス・フォークダンス・レクリエーションなど)
19. 芸能 (歌謡・落語・演芸など)
20. その他

賛助会員

順不同

私たちのサポーター!

〈個人会員〉

古川 錠子
田中 俊行
田中 武
前田 衡延

〈法人会員〉

オリンピックアスリートクラブ
北勢インフォメーション
サービス
武田薬品工業(株)

四日市中日文化センター

平成薬品(株)

グリル四日市

日本トランスシテイ(株)

(台)水九印刷所

(株)中部近鉄百貨店

中北薬品(株)

船橋薬品(株)

(株)松坂屋 四日市店

お知らせ

〈継続・新入会のご案内〉

新年度を迎え、継続会員の方、新入会の方、手続きを早めにお願いたします。

〔方法〕

- ・入会申込書にご記入の上、事務局までお送り下さい。
- ・年会費は、郵便振替で払い込み下さい。
- ・団体は登録リストまたは貴会名簿コピーを、入会申込書に添えて下さい。

〈後援依頼の手続きと、PRの方法について〉

文化協会では、各団体の催物について、名儀後援と、新聞社(9社)への、広報依頼のお手伝いをしております。

パッション 第3号

- 発行 平成7年6月11日
- 編集 情報誌編集委員会
- 発行人 石田克久
- 発行所 四日市市文化協会

四日市市昌栄町21の10
TEL・FAX
0593(51)3729

●誌名の「パッション」は、燃えるような情熱の意味です。

●原稿募集

会員の皆様からの原稿をお待ちしています。文芸、歴史、ご提言、情報のほか、写真、イラストなどもお寄せ下さい。